

「強風による建築物等の疲労損傷問題の現状と展望（7）」

趣旨：非常に稀な地震、台風、竜巻等による激甚災害における建築物、構造物の被害は顕著なため、設計に際しては、最大荷重に関心が向かいがちです。しかし、継続的に受けているダメージの蓄積が構造物の耐力低下につながる疲労損傷問題は、歴史的に見ても構造物の設計において重要で、忘れてはなりません。構造物の大型化、複雑化に伴って、被害要因も複雑化し、疲労損傷の蓄積がどのような形で被害となって顕在化するか予想が困難です。安全保障や資産の保全という意味を含めて、社会資本としての既存構造物や、今後建設される新たな構造物の疲労損傷を含めた安全性のパフォーマンスを検討することが重要であるという問題意識に基づき、特に継続的で作用時間の長い、風応答による構造物・部材の疲労損傷問題を、さまざまな構造物や部位、材料について検討したいと考え、公開研究会を企画しました。本研究会は2014年に第1回を開催し、本年度で7回目の開催です。本年度は、耐震設計で用いられることの多い損傷指標の一つとして塑性率や累積塑性変形倍率がありますが、疲労損傷とそれらの関係等について、また、部材の損傷度評価法等について最近の研究動向をご紹介いただくご講演をお願いいたしました。ご関心のある方の参加をお願い申し上げます。

大熊武司（神奈川大学名誉教授）

主催：東京工芸大学 風工学研究拠点

（文部科学省 共同利用・共同研究拠点）

開催日時：2020年2月26日（水）13:30～16:45

開催場所：東京工芸大学 中野キャンパス 5号館（芸術情報館）3階 5301教室

（会場が変更になりました。ご注意ください。）

参加申込：下記に、ご氏名、ご所属、連絡先をお送りください。

申込メールアドレス：wejrc+200226p@gmail.com

当日受付も致します。

問合せ先：東京工芸大学風工学研究拠点 事務局 TEL：046-242-9658

プログラム(敬称略)（講演者都合により変更することがあります）

13:30～13:40 開催趣旨説明

大熊 武司（神奈川大学名誉教授）

13:40～14:25 【招待講演】累積塑性率と塑性率から推定される累積疲労損傷

岡野 創（千葉大学）

14:30～15:15 【招待講演】座屈拘束ブレースの損傷度評価方法

植木 卓也（JFEスチール（株））

（研究会メンバーからの情報提供）

15:20～16:05 アルミ構造部材の疲労損傷度評価（仮）

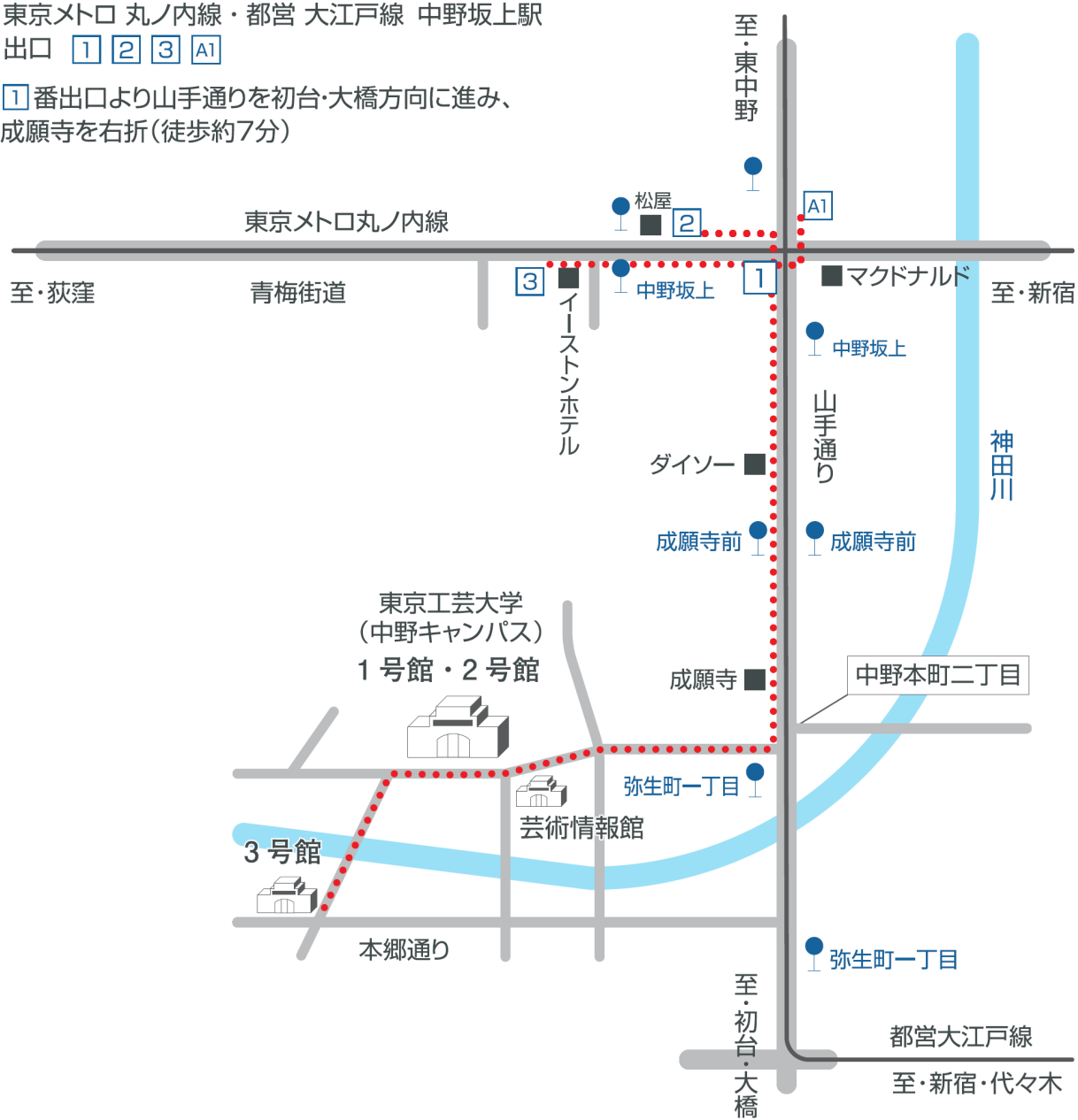
中込 忠男（信州大学名誉教授）

16:10～16:45 Miner則による風洞実験結果を用いた外装材の疲労損傷度評価（仮）

松井 正宏（東京工芸大学）

中野キャンパス周辺地図

- ・東京メトロ丸ノ内線・都営大江戸線 中野坂上駅
出口 1 2 3 A1
- ・1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、
成願寺を右折(徒歩約7分)



【中野キャンパス】〒164-8678 東京都中野区本町2-9-5
TEL:03-3372-1321 FAX:03-3372-1330